

会計区分	01	一般会計	令和 6 年度 事業評価書				事業主体	01300000	市民福祉部 福祉課		
大事業	E1	6つのまちづくり宣言	地域再生	款項目	03	民生費	01	社会福祉費		01	社会福祉総務費
		目指す姿	地域の魅力をアップデート！	K P I	あい愛バス利用者数 住みよいまちだと感じる人の割合				目標値	120,000人 80.0%	
中事業	04	主要な取り組み	みんなの活動を、みんなで支える								
小事業	06	地域きずな事業		目標年度	令和6年度						



イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	地域共生社会の実現には、人が主体的かつ自発的に人生を歩みつつ、自己実現及び他者へ手を差し伸べる行動を喚起していく必要があり、そのためには、自己肯定感・自己有用感・自己効力感の形成が求められる。これらは、人は他者から必要とされる経験を経ることにより、自分の存在意義を実感することで育まれていくものの、地域コミュニティの結びつきに綻びが生じつつある現在では、高齢者等の社会とのつながりを喪失しやすい人の社会的孤立が課題となっている。こうした社会的孤立を防止するためには、世代属性を超えた多様な交流および一人ひとりの役割と出番の創出につながる仕掛けが必要である。					
対 象	地域住民（主に高齢者）の孤立の解消及び保育園児と地域住民の交流					
目 的	地域住民が市立保育園を訪れ、園児と食を共にし、遊びの時間により交流することで、高齢者を始めとする地域住民の孤立の解消と交流による保育園児の情操教育効果を狙い、地域での積極的な交流関係の構築を図る。					
概 要	高齢者を主とする地域住民が定期的に保育園を訪れ、食事や遊びの時間を共有する。 。保育園児にとっては、地域住民との貴重なふれあいの時間となり、高齢者等にとってはこどもと関わる有意義な時間となることにより、地域共生社会構築の一環とする。					
事 業 費（千円）		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	975	975	975	975	975
	決算額	0	0	0	426	535
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		142 / 0				



アウト プ ット	活 動 指 標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	交流会の周知回数	目標値	2	2	2	2	2
		実績値	0	0	0	2	2

アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	参加した地域住民の数	目標値	540	540	100	100	50
		実績値	0	0	0	14	48

実 績	実 績	市内3保育園で園児と民生委員等の交流会を実施 優しいまちづくりを推進する事業を1保育園で実施
	効 果	園児と地域の住民（民生委員児童委員）とが遊びを通じて触れ合うことにより、地域共生社会構築の一環となった。 参加者は子どもたちと関われることを喜んでおり、交流を楽しんでいた。園児たちも普段交流の無い地域の大人たちと交流することを心から楽しんでいる様子だった。 遊びのアイテムとしておもちゃや絵本等を購入し実施保育園に配布して事業を実施するため、事業終了後も園児たちが利用できることも好評である。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	民生児童委員へ参加募集の依頼や周知を実施した。 本来なら広報などで参加者の一般募集を行っても良いかもしれないが、誰でも園児と触れ合うことができるようにすることは、安全面から困難である。そのため、民生児童委員に限定して依頼をかけているが、今後の検討事項である。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	保育園の受け入れ人数が決まっているので、回数を増やすか、実施対象園の数を増やすか検討したい。 また、令和6年度から委託事業により物の製作を大人と子どもで一緒になって行った。この委託事業の対象者を園児ではなく小学生にする等によれば参加者数の増加に繋がるかもしれない。
	実績からR07年度の 事業の方向性	保育園での実施は参加者の満足度も高く、好評のため引き続き行っていきたい。 また、保育園での開催とは別に多くの大人と子どもが触れ合えるような事業（委託）について、考えながら事業を進めていく。（物の製作等園児では難しいものであっても小学生なら楽しめるものであれば、対象者を変えて実施できないか等）